

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル相当年度

案内文

通知書文言

金融機関名 金融機関支店名			
預金種目		口座番号 口座名義人	
被保険者氏名		被保険者番号	

1 振替不能の保険料額

相当年度年度 期別番号 (賦課年度年度賦課分)	金 額	円
振替できなかった理由		
備 考 (固定文言1)	固定文言2＋編集1	

補足説明タイトル

補足説明文
延滞金加算率

納期限名称	納期限
-------	-----

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

<後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書（はがき）>

宛名

問い合わせ先

担当部署名

〒担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

文章番号

タイトル

相当年度

発行年月日

自治体の名称

印

案内文

通知書文言

金融機関名

金融機関支店名

預金種目

口座番号

口座名義人

被保険者氏名

被保険者番号

1 振替不能の保険料額

相当年度

(賦課年度)

年度

期別番号

年度賦課分)

金 額

円

振替できなかった理由

備 考
(固定文言1)

固定文言2 + 編集1

納期限名称

納期限

補足説明タイトル

補足説明文

延滞金加算率

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	01 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、口座振替不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （例１） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 （例２） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。
9	通知書文言	●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する （例１）同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 （例２）以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。
10	金融機関名	●			
11	金融機関支店名	●			
12	預金種目	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	01 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書
----	-----------	------	------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
13	口座番号		●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
14	口座名義人		●			半角カナで印字すること
15	被保険者氏名		●			
16	被保険者番号		●			
17	振替不能の保険料額	相当年度	●			和暦表記
18		期別番号	●			
19		賦課年度	●			和暦表記
20		金額	●			
21		振替できなかった理由	●			
22		備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限
23		固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限 等
24	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 2 督促及び延滞金
25		補足説明文[延滞金加算率]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率]：システム印字項目 （印字例） 保険料をこのまま納付されないと、督促状が発送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率]%の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても365日当りの割合です。
26		納期限名称	●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する （例1）納期限 （例2）再振替予定日
27		納期限	●			口座振替不能理由によって以下の例のように日付を印字する （例1）納期限（和暦表記） （例2）再振替予定日（和暦表記）
28	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		01	後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
29		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
30		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
31		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
32		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル

案内文

還付管理番号			
被保険者氏名		被保険者番号	

還付する金額	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳						
過誤納金算出年度 （相当年度： 年度）	期 別	特別徴収	普通徴収	延滞金	納めた金額 過誤納金額	領収年月日 発生理由	備考1 （固定文言1）
納め過ぎた金額（過誤納金額） a							固定文言2＋編集1
充当金額 b							
還付加算金 c							
お返しする金額（還付金額） a-b+c							

充当金額の内訳							備考2（固定文言3）
相当 年度	賦課 年度	期別	保険料未済額	保険料充当額	延滞金未済額	延滞金充当額	
							固定文言4＋編集2

還付金の受け取り方法			補足説明文1					
金融機関名				支店名			備考3	編集3
種目		口座番号			口座名義人			

補足説明文2

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 担当部署FAX番号 担当部署メール

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号 不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

タイトル

還付管理番号			
被保険者氏名		被保険者番号	

納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳

期 別	特別徴収	普通徴収	延滞金	納めた金額 過誤納金額	領収年月日 発生理由	備考1 (固定文言1)
						固定文言2＋編集1

充当金額の内訳

相当 年度	賦課 年度	期別	保険料未済額	保険料充当額	延滞金未済額	延滞金充当額	備考2（固定文言3）
							固定文言4＋編集2

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	発行年月日		●			和暦表記	
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
6	郵便還付先			●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
7	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書	
8	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当した後にお返します。	
9	還付管理番号		●			「04. 後期高齢者医療保険料還付請求書」と紐づく管理番号 還付請求書を発行していない場合は印字しない	
10	被保険者氏名		●				
11	被保険者番号		●				
12	還付する金額	過誤納金算出年度	●			賦課年度、和暦表記	
13		相当年度	●			和暦表記	
14		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●			過誤納金額合計（特別徴収にかかる死亡により生じた過誤納金額のうち、年金保険者への返納額を除く）	
15		充当金額	●				
16		還付加算金	●				
17		お返しする金額（還付金額）	●				
18		納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳	期別	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
19	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●			特別徴収保険料額	
20		普通徴収	●			普通徴収保険料額	
21		延滞金	●				
22		納めた金額	●				
23		過誤納金額	●				
24		領収年月日	●			和暦表記	
25		発生理由	●				
26			備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料
27		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等	
28	充当金の内訳	相当年度	●			和暦表記	
29	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	賦課年度	●			和暦表記	
30		期別	●				
31		保険料未済額	●				
32		保険料充当額	●				
33		延滞金未済額	●				
34		延滞金充当額	●				
35			備考 2（固定文言 3）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額
36		固定文言 4 + 編集 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等	
37	還付金の受け取り方法	金融機関名	●				
38		支店名	●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書
----	-----------	------	------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
39		備考 3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 支払予定日
40		編集 3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 支払予定日
41		種目	●			
42		口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
43		口座名義人	●			半角カナで印字すること
44		補足説明文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) お返しする保険料・延滞金を下記の金融機関に振り込みます。
45		補足説明文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1) 空欄の場合や記載されている口座とは別の口座への振込を希望する場合は、同封の請求書をご返送ください。 (印字例 2) なお、振込先が空欄の場合は●●課で還付金をお返しすることになります。 持参するもの (1) この通知書 (2) 本人確認書類
46		問い合わせ先 担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
47		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
48		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
49		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
50		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納	帳票名称			02 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
51	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
52		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
53		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
54		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
55	ページ数		●			
56	総ページ数		●			
57	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする		●			1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル

案内文

被保険者氏名

被保険者番号

充当金額

過誤納金算出年度 (相当年度： 年度)
納め過ぎた金額(過誤納金額) a
還付加算金 b
充当金額 a + b

納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳

期 別	特別徴収	普通徴収	延滞金	納めた金額 過誤納金額	領収年月日 発生理由	備考1 (固定文言1)
						固定文言2＋編集1

充当金額の内訳

相当 年度	賦課 年度	期別	保険料未済額	保険料充当額	延滞金未済額	延滞金充当額	備考2（固定文言3）
							固定文言4＋編集2

補足説明タイトル

補足説明文

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号

不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

タイトル

被保険者氏名		被保険者番号	
--------	--	--------	--

納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳

期 別	特別徴収	普通徴収	延滞金	納めた金額 過誤納金額	領収年月日 発生理由	備考 1 (固定文言 1)
						固定文言 2 + 編集 1

充当金額の内訳

相当 年度	賦課 年度	期別	保険料未済額	保険料充当額	延滞金未済額	延滞金充当額	備考 2（固定文言 3）
							固定文言 4 + 編集 2

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料充当通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	発行年月日		●			和暦表記	
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
4	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
5	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
6	郵便還付先			●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
7	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料充当通知書	
8	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当（割り当て）させていただきます。	
9	被保険者氏名		●				
10	被保険者番号		●				
11	充当金額	過誤納金算出年度	●			賦課年度、和暦表記	
12		相当年度	●			和暦表記	
13		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●				
14		還付加算金	●				
15		充当金額	●				
16	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳	期別	●				
17	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●			特別徴収保険料額	
18		普通徴収	●			普通徴収保険料額	
19		延滞金	●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料充当通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
20		納めた金額	●				
21		過誤納金額	●				
22		領収年月日	●				
23		発生理由	●				
24		備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料	
25		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等	
26	充当金の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	相当年度	●			和暦表記	
27		賦課年度	●			和暦表記	
28		期別	●				
29		保険料未済額	●				
30		保険料充当額	●				
31		延滞金未済額	●				
32		延滞金充当額	●				
33		備考 2（固定文言 3）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額	
34		固定文言 4 + 編集 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等	
35	補足説明タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 次回の保険料の支払いについて	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料充当通知書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
36	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 過誤納金は、これからお支払いいただく保険料や未納になっている保険料に充当させていただきます。その後、足りない金額については、未到来納期分から、請求させていただきます。	
37	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
38		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
39		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
40		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
41		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
42	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。	
43		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
44		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
45		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
46	ページ数		●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料充当通知書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
47	総ページ数	●			
48	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする	●			1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

タイトル

請求日： 年 月 日

自治体の名称

編集 3

案内文 1

被保険者氏名										
被保険者番号								還付 管理番号		
被保険者住所										
備考 1 (固定文言 1)	編集 1		備考 2 (固定文言 2)		固定文言 3 + 編集 2					

案内文 2

(請求者)

フリガナ

氏 名

被保険者との続柄

住 所 〒

電話番号

固定文言 4

個人番号 (マイナンバー)																公金受取口座を利用する場合は、請求者の個人番号を記入して下さい。
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------------------

- ☐ 公金受取口座を利用します。 ※還付金等の受取口座として、国に事前に登録した公金受取口座を利用する場合は、「☐ 公金受取口座を利用します」にチェック (✓) してください。
- ☐ 下記口座を利用します。 ※公金受取口座を利用する場合は、口座情報 (下記太枠部) の記載や通帳の写しの添付等は不要です。

振 込 先	金融機関名										☐ 銀行 ☐ 信用組合					
											☐ 信用金庫 ☐ 共同組合					
											☐ そ の 他 []					
	支店名										☐ 本店 ☐ 支店					
											☐ 出張所					
											☐ そ の 他 []					
	金融機関コード					支店コード										
	預金種別		☐ 普通 ☐ 当座 ☐ そ の 他 []		口座番号		右づめで記入してください									
	口座名義人 (カタカナ)															

※口座名義人はカタカナで上段より左づめで記入してください。濁点・半濁点は1字とし、姓と名の間は1字あけてください。

固定文言 5
固定文言 6
固定文言 7

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	04 後期高齢者医療保険料還付請求書
----	-----------	------	--------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付請求書
2	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
3	編集 3		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿
4	案内文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の被保険者に係る後期高齢者医療保険料過誤納金の還付について請求します。
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者番号	●			
7	還付管理番号	●			「02. 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書」と紐づく管理番号
8	被保険者住所	●			住所＋全角スペース＋方書
9	備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、請求額合計
10	編集 1	●			(還付加算金額ありの場合) 還付額＋還付加算金額 (還付加算金額なしの場合) 還付額
11	備考 2（固定文言 2）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、還付加算金額
12	固定文言 3＋編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 還付額、還付加算金額 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料還付請求書	
04. 保険料収納					
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
13	案内文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1) なお、還付については、以下に記載した内容にもとづき、金融機関口座へ振り込むよう依頼します。また、本人口座以外に還付する場合は、委任状を提示してください。 (印字例 2) 以下に記載する金融機関口座へ振り込むよう依頼します。被保険者が死亡された場合は、相続人本人名義の口座を記入してください。また、本人口座以外の場合は、委任状または申出書を提示してください。
14	固定文言 4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・理由 ※請求者が被保険者本人ではない場合の理由
15	固定文言 5	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 委任状 (※被保険者と口座名義人が異なる場合は以下を記入してください。)
16	固定文言 6	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の代理人に後期高齢者医療保険料の還付金の受領を委任します。 年 月 日
17	固定文言 7	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人住所 〒
18	固定文言 8	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人氏名

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル

案内文

被保険者氏名		被保険者番号	
--------	--	--------	--

納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳

還付する金額 過誤納金算出年度 (相当年度： 年度)	期 別	特別徴収	普通徴収	延滞金	納めた金額 過誤納金額	領収年月日 発生理由	備考1 (固定文言1) 固定文言2＋編集1
納め過ぎた金額（過誤納金額）							

金融機関名		支店名	
種 目	口座番号	口座名義人	

補足説明文

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 担当部署FAX番号 担当部署メール

業務		04. 保険料収納		帳票名称		05 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	発行年月日		●			和暦表記	
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
3	郵便還付先			●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
4	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票	
5	案内文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付（納入）された後期高齢者医療保険料が納めすぎになりましたので、次のとおりお返しいたします。なお、当期までの未済分、および、納期未到来分への充当も行えます。別紙に添えました『後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ』をご覧ください。	
6	被保険者氏名		●				
7	被保険者番号		●				
8	還付する金額	過誤納金算出年度	●			和暦表記	
9		相当年度	●			和暦表記	
10		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●				
11	納め過ぎた金額（過誤納金額）の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	期別	●				
12		特別徴収	●			特別徴収保険料額	
13		普通徴収	●			普通徴収保険料額	
14		延滞金	●				
15		納めた金額	●				
16		過誤納金額	●				
17		領収年月日	●				
18		発生理由	●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		05 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
19		備考 1 （固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料	
20		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等	
21	金融機関名		●				
22	支店名		●				
23	種目		●				
24	口座番号		●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする	
25	口座名義人		●			半角カナで印字すること	
26	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 上記、過誤納金額分を次のいずれかの方法でお取扱いいただくことになります。 1．取扱金融機関を登録されている方、上記指定口座に還付金を振り込みます。 2．取扱金融機関を登録されていない方や記載されている口座とは別の口座への振り込みを希望する方は、別紙に添えました『後期高齢者医療保険料還付申請書』に振込先の口座情報等を記入の上、返送をお願いいたします。	
27	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
28		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
29		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
30		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
31		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	06 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記
2	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ
3	被保険者氏名	●			
4	被保険者番号	●			
5	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 当期までの未済額、および、納期未到来分の未済額をお知らせします。
6	相当年度	●			和暦表記
7	賦課年度	●			和暦表記
8	期別	●			
9	納期限	●			和暦表記
10	保険料	●			
11	延滞金	●			基準日までの延滞金
12	未済額計	●			
13	備考1 (固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料
14	固定文言2 + 編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料 等
15	合計 (保険料)	●			
16	合計 (延滞金)	●			
17	合計 (未済額計)	●			
18	固定文言3 + 編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 合計 (督促手数料) 等
19	補足説明文[基準日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]: システム印字項目 (印字例) なお、保険料欄に未済金額がある場合、延滞金欄には試算値として [基準日]時点での延滞金未済額を記載しています。
20	ページ数	●			
21	総ページ数	●			

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル

被保険者氏名

被保険者住所

年 度	表見出し1 金額タイトル	表見出し2 金額タイトル	表見出し3 金額タイトル	備 考
	納付済額 (内非課税年金額1) 未納額 (内非課税年金額2) 納期到来未納額	納付済額 (内非課税年金額1) 未納額 (内非課税年金額2)	納付済額 未納額 納期到来未納額	滞納有無 固定文言2 + 編集1
合 計	納付済額 (内非課税年金額1) 未納額 (内非課税年金額2) 納期到来未納額	納付済額 (内非課税年金額1) 未納額 (内非課税年金額2)	納付済額 未納額 納期到来未納額	

固定文言1

案内文1

発行年月日

自治体の名称

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

印

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	07 後期高齢者医療保険料納付証明書
----	-----------	------	--------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付証明書
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者住所	●			
7	表見出し1 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること [金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額（内非課税年金分） 未納額（内非課税年金分） 納期到来未納額

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		07 後期高齢者医療保険料納付証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
8	表見出し 2 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること 特別徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額	
9	表見出し 3 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること 普通徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 未納額 納期到来未納額	
10	年度		●			納付された保険料の相当年度 和暦表記	
11	保険料額	納付済額	●			納付された保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
12	※「表見出し 1」列	非課税年金額 1	●			納付済額のうち、非課税年金分の金額	
13		未納額	●			納付される今後の納付見込保険料額 (年度に該当する対象の合計)	
14		非課税年金額 2	●			未納額のうち、非課税年金分の金額	
15		納期到来未納額	●			未納金額 (納期到来分)	
16	特別徴収分保険料額	納付済額	●			納付された特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額) ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること ※過誤納額を計上する (収入済額) 場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額	
17	※「表見出し 2」列	非課税年金額 1	●			納付済額のうち、非課税年金分の金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	07 後期高齢者医療保険料納付証明書
----	-----------	------	--------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
18		未納額	●			納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額（年度に該当する対象の合計） ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
19		非課税年金額 2	●			未納額のうち、非課税年金額分の金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
20	普通徴収分保険料額	納付済額	●			納付された普通徴収分保険料額 （年度に該当する対象の合計、未納額も含む金額） ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
21	※「表見出し 3」列	未納額	●			納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額 （年度に該当する対象の合計）
22		納期到来未納額	●			未納金額（納期到来分）
23	合計（保険料額）	納付済額合計	●			納付された保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
24	※「表見出し 1」列	非課税年金額 1 合計	●			納付済額のうち、非課税年金額分の金額の合計
25		未納額合計	●			納付される今後の納付見込保険料額の合計
26		非課税年金額 2 合計	●			未納額のうち、非課税年金額分の金額の合計
27		納期到来未納額合計	●			未納金額（納期到来分）の合計
28	合計（特別徴収分保険料額）	納付済額合計	●			納付された特別徴収分保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額
29	※「表見出し 2」列	非課税年金額 1 合計	●			納付済額のうち、非課税年金額分の金額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
30		未納額合計	●			納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
31		非課税年金額 2 合計	●			未納額納付のうち、非課税年金額分の金額の合計 ※特別徴収分が出力対象ではない場合は*を出力すること
32	合計（普通徴収分保険料額）	納付済額合計	●			納付された普通徴収分保険料額の合計 ※未納額も含む金額 ※過誤納額を計上する（収入済額）場合、還付金額は含まず、還付未済額は含む金額

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		07 後期高齢者医療保険料納付証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
33	※「表見出し3」列	未納額合計	●			納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額の合計	
34		納期到来未納額合計	●			未納金額（納期到来分）の合計	
35	備考	滞納有無	●			滞納有無によって以下の文言を出力すること 領収証等により入金が確認できている場合は「滞納なし」の記載に変更できること （印字例：滞納が無い場合） 滞納なし （印字例：滞納が有る場合） 滞納あり	
36		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （印字例：口座振替の場合） 口座名義人（口座名義人カナ） （印字例：口座振替でない場合） 表示しない ※同一年度内で口座名義人が異なる場合、それぞれの口座名義人が表示されるよう明細行を分けて表示すること ※口座名義人が異なり明細行を分けて表示する際、金額項目等は同一年度の先頭行に合計金額を表示すること	
37	固定文言 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 括弧内は非課税年金額が表示されています。	
38	案内文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。	
39	発行年月日		●			和暦表記	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		07 後期高齢者医療保険料納付証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
40	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
41	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
42	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
43		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
44		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
45		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
46		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
47	ページ数		●				
48	総ページ数		●				

文書番号

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル

被保険者氏名

被保険者番号

固定文言 1	集計開始日	集計終了日
--------	-------	-------

案内文 1

相当年度	賦課年度	期別	振替 済額	振替日	口座情報	備考 (固定文言 2)
						固定文言 3 + 編集 1
振替済額期間合計						

案内文 2

発行年月日

問い合わせ先

自治体の名称

担当部署名

担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

P. ページ数 / 総ページ数

印

＜後期高齢者医療保険料口座振替済通知書兼納付額証明書（はがき）＞

宛名

問い合わせ先

担当部署名

二 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

文章番号

タイトル

被保險者氏名

被保險者番号

固定文言

集計開始日

集計終了日

案内文 1

[illegible]

振替決済額期間合計

案内文 2

発行年月日

自治体の名称

自

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		08 後期高齢者医療保険料口座振替済通知書兼納付額証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする	
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
3	郵便還付先			●		※A4様式の場合のみ印字される パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
4	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 口座振替済通知書兼納付額証明書	
5	被保険者氏名		●				
6	被保険者番号		●				
7	固定文言 1 [集計開始日][集計終了日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日]：システム印字項目 [集計終了日]：システム印字項目 (印字例) [集計開始日]～[集計終了日]振替分	
8	案内文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記のとおり、指定口座より振替しましたので通知します。	
9	明細	相当年度	●			和暦表記	
10		賦課年度	●			和暦表記	
11		期別	●				
12		振替済額	●				
13		振替日	●				
14		口座情報	●			口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座種目、口座番号、口座名義人カナ 等	
15		備考 (固定文言 2)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	08 後期高齢者医療保険料口座振替済通知書兼納付額証明書
----	-----------	------	------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
16		固定文言 3 + 編集 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
17	振替済額期間合計		●			明細の最終行に表示することとし、複数ページに跨る場合は、最終ページのみに表示する
18	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。
19	発行年月日		●			和暦表記
20	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
21	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること (公印の出力有無を変更できること)
22	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
23		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
24		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
25		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
26		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
27	ページ数		●			
28	総ページ数		●			

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル

被保険者氏名

被保険者住所

案内文 1

集計開始日

集計終了日

年 度	表見出し 1 金額タイトル	表見出し 2 金額タイトル	表見出し 3 項目タイトル
年度 以前分	納付済額 (納付見込額)	納付済額 (納付見込額)	口座名義人カナ
年度			
合 計	納付済額合計 (納付見込額合計)	納付済額合計 (納付見込額合計)	

固定文言 1

案内文 2

案内文 3

発行年月日

自治体の名称

印

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

<後期高齢者医療保険料納付額証明書（はがき）>

宛名

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

文章番号

タイトル

被保険者氏名

被保険者住所

案内文 1

集計開始日

集計終了日

年 度	表見出し 1	表見出し 2	表見出し 3
	金額タイトル	金額タイトル	項目タイトル
年度 以前分	納付済額 (納付見込額)	納付済額 (納付見込額)	口座名義入カナ
年度			
合 計	納付済額合計 (納付見込額合計)	納付済額合計 (納付見込額合計)	

固定文言 1

案内文 3

発行年月日

自治体の名称

印

案内文 2

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			09 後期高齢者医療保険料納付額証明書
04. 保険料収納					
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付額証明書
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者住所	●			
7	案内文 1 [集計開始日][集計終了日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日]：システム印字項目 [集計終了日]：システム印字項目 (印字例) あなたが[集計開始日]～[集計終了日]の期間に支払った後期高齢者医療保険料は以下のとおりです。
8	表見出し 1 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること [金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 普通徴収分

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		09 後期高齢者医療保険料納付額証明書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
9	表見出し 2 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること 特別徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 特別徴収分
10	表見出し 3 [項目タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること 口座名義人[項目タイトル]：システム印字項目 (印字例) 口座名義人
11	年度		●			〇〇年度以前分：〇〇はパラメタで指定した（[相当年度]-1）を出力する 〇〇年度分：〇〇はパラメタで指定した[相当年度]を出力する
12	普通徴収分保険料額 ※「表見出し 1」列	納付済額	●			普通徴収分の納付された保険料額の相当年度合計金額を出力する 「年度」の「〇〇年度分」の行は、[相当年度]の合計金額を出力する 「年度」の「〇〇年度以前分」の行は、（[相当年度]-1）以前の合算金額を出力する 「合計」の行は、「年度」の「〇〇年度以前分」「〇〇年度分」の合計金額を表示する （納付済額が“0”の場合は“*****”を出力すること） ※1 集計期間が暦年のため、相当年度が複数年になることから、年度単位の出力とする。また、前年以前の金額は過年度随時期等の複数年の対応をがあることから、これらを考慮し、「〇〇年度以前分」として合算表記とする ※2 見込み納付額を反映する場合、納付済額は見込み納付を含めて出力する
13		納付見込額	●			上記「納付済額」の金額に見込み納付額が含まれる場合、見込み納付額の金額のみ出力する （納付見込額が“0”の場合は“*****”を出力すること）

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		09 後期高齢者医療保険料納付額証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
14	特別徴収分保険料額 ※「表見出し2」列	納付済額	●			特別徴収分の納付された保険料額の相当年度合計金額を出力する 「年度」の「〇〇年度分」の行は、[相当年度]の合計金額を出力する 「年度」の「〇〇年度以前分」の行は、（[相当年度]-1）以前の合算金額を出力する 「合計」の行は、「年度」の「〇〇年度以前分」「〇〇年度分」の合計金額を表示する （納付済額が“0”の場合は“*****”を出力すること） ※1 集計期間が暦年のため、相当年度が複数年になることから、普通徴収の表記に合わせて、「〇〇年度以前分」に前年相当年度分を出力する ※2 見込み納付額を反映する場合、納付済額は見込み納付を含めて出力する	
15		納付見込額	●			上記「納付済額」の金額に見込み納付額が含まれる場合、見込み納付額の金額のみ出力する （納付見込額が“0”の場合は“*****”を出力すること）	
16	口座名義人 ※「表見出し3」列	口座名義人カナ	●			口座振替にて納付された口座名義人カナを出力する （印字例：口座振替の場合） 口座名義人カナ （印字例：口座振替でない場合） 表示しない ※同一年度内で口座名義人が異なる場合、改ページして口座名義人単位に明細行を出力すること	
17	固定文言 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※年金から天引きされた分については、公的年金等源泉徴収票をご確認ください。 ※（ ）内は納付見込み額です。	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		09	後期高齢者医療保険料納付額証明書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
18	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) <ご注意> ※本証明書は確定申告又は住民税申告の際に、社会保険料控除の申告用としてご利用いただくものです。 ※上記証明額は期間中に納付がなされた金額であり、年間の賦課額を証明するものではありません。 ※ 上記証明額は本料のみの金額であり、督促手数料、延滞金は含まれません。 ※ 年末・年始の関係で証明額と実際の納付額と一致しない場合はお問い合わせください。 ※年金から天引きされた分については、公的年金等源泉徴収票をご確認ください。		
19	案内文 3		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。		
20	発行年月日		●			和暦表記		
21	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること		
22	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること (公印の出力有無を変更できること)		
23	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名		
24		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所		
25		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定		
26		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
27		担当部署メール			●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		
28	ページ数		●					

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		09	後期高齢者医療保険料納付額証明書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など			
		必須	オプション	不可				
29	総ページ数	●						

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル

被保険者氏名

被保険者住所

年 度	表見出し 1 金額タイトル	表見出し 2 金額タイトル	表見出し 3 金額タイトル	備 考
	固定文言 1			
合 計				

案内文 1

発行年月日

自治体の名称

印

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	10 後期高齢者医療保険料完納証明書
----	-----------	------	--------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
3	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
4	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例：完納証明書) 後期高齢者医療保険料 完納証明書
5	被保険者氏名	●			
6	被保険者住所	●			
7	表見出し1 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること [金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額
8	表見出し2 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること 特別徴収分 [金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 (内非課税年金分) 未納額 (内非課税年金分) 納期到来未納額

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	10 後期高齢者医療保険料完納証明書
----	-----------	------	--------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
9	表見出し3 [金額タイトル]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、印字有無はそれぞれの項目で選択可能とすること 下表でもタイトルの印字有無と同様の項目を印字すること 普通徴収分[金額タイトル]：システム印字項目 (印字例) 納付済額 未納額 納期到来未納額
10	年度		●			納付された保険料の相当年度 和暦表記
11	固定文言 1		●			滞納なし
12	案内文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。
13	発行年月日		●			和暦表記
14	自治体の名称		●			パラメタによって設定内容を選択できること パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名もしくは担当部署名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
15	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
16	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
17		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
18		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
19		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
20		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

窓あき宛名

郵便還付先

自治体の名称

印

タイトル相当年度

案内文

基準日

指定納期限

自治体名

被保険者氏名

被保険者番号

通知書番号

相当年度年度

(賦課年度年度賦課分)

期 別

保険料

円

納期限

備 考
(固定文言1)

固定文言2＋編集1

補足説明文

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号

不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

<後期高齢者医療保険料督促状（はがき）>

宛名

問い合わせ先

担当部署名

〒担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

文章番号

タイトル

相当年度

発行年月日

自治体の名称

印

案内文

基準日

指定納期限

自治体名

被保険者氏名

被保険者番号

通知書番号

[相当年度]

年度 ([賦課年度]

年度賦課分)

期 別

保 険 料

円

納 期 限

備 考

(固定文言 1)

固定文言 2 + 編集 1

補足説明文

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒

不服申立先担当部署郵便番号

不服申立先担当部署住所

TEL

不服申立先担当部署電話番号

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	11 後期高齢者医療保険料督促状
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） [指定納期限]：システム印字項目（和暦表記） [自治体名]：システム印字項目 （印字例） 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	相当年度	●			和暦表記
13	賦課年度	●			和暦表記

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	11 後期高齢者医療保険料督促状
----	-----------	------	------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
14	期別		●			
15	保険料		●			
16	納期限		●			和暦表記
17	備考（固定文言 1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
18	固定文言 2 + 編集 1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
19	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承ください。 ※ 領収証は5年間保存願います。
20	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名 + 部署名
21		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号 + 全角スペース + 住所
22		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
25	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		11 後期高齢者医療保険料督促状	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
						なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の１から３までのいずれかに該当するものを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 １ 審査請求があった日から３か月を経過しても裁決がないとき。 ２ 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 ３ その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。	
26		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
27		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	
28		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定	

<口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）>

77

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

納入済通知書

公

通常払込料金
加入者負担



加入者名

〇〇市 会計管理者

口座番号

01234-5-678901

納付合計
金額

円

収納機関
番号

納付
番号

確認
番号

納付
区分

相当年度

期別

通知書
番号

納期限

年

月

日

34

督促手数料

円

延滞金

円

合計

円

被保険者
氏名

取扱
期限

年

月

日

収納用
コンビニ

収納代行会社：株式会社〇〇

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
(〇〇市/コンビニ本部所属)

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

原符兼払込金受領証

公



加入者名

〇〇市 会計管理者

口座記号番号

01234-5-678901

納付合計
金額

円

取扱期限

年

月

日

被保険者氏名

納付番号

確認番号

納付
区分

年

度

賦課年度

相当年度

科

目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

期別

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

(金融機関/コンビニ店所属管)

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

窓あき宛名

発行年月日

自治体の名称

印

郵便還付先

〇〇市
〒000-0000 〇〇市1丁目2番3号
電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面をご覧ください。

スマートフォン
等での納付はこちら

二次元
コード

固定文言

案内文

被保険者氏名

被保険者番号

備考5

編集5

年

度

賦課年度

相当年度

科

目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

期

別

納付番号

確認番号

納付区分

納付金額

延滞金

備考1

編集1

備考2

編集2

備考3

編集3

備考4

編集4

※取扱期限とは、コンビニエンスストアでの使用可能期限です。

本書の金額を
領収いたしました。

領収日付印

ゆうちょ銀行・郵便局で納付
された場合は、この領収証書
に代えて払込金受領証が交付
されます。

収納代行会社：株式会社〇〇

収入印紙不要

(納付者保管)

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ ペイジーマークはペイジー導入済み地方団体のみが使用でき、帳票レイアウトはMPN標準帳票ガイドライン等の仕様書に沿って作成される必要がある。
(仕様書上のマークは参考として記載)
- ・ カク公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	12 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		納付合計金額	●			
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している）
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）
7		相当年度	●			和暦表記
8		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
9		通知書番号	●			
10		納期限	●			発行する際に、納期限を設定できること 和暦表記
11		OCR	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			12 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）
04. 保険料収納					
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●		
15		取扱期限	●		発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
16		賦課年度	●		和暦表記
17		納付合計金額	●		
18		取扱期限	●		発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
19		被保険者氏名	●		
20		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
21		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
22		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
23		賦課年度	●		和暦表記
24		相当年度	●		和暦表記
25		通知書番号	●		
26		期別	●		①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
27	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
28		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
29		発行年月日	●		和暦表記
30		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
31		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
32		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること

業務		04. 保険料収納		帳票名称		12 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
33		固定文言	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例 1：督促状兼納付書) 督促状兼領収証書 (印字例 2：催告書兼納付書) 催告書兼領収証書 (印字例 3：口座振替不能通知書兼納付書) 口座振替不能通知書兼領収証書	
34		案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。	
35		被保険者氏名	●				
36		被保険者番号	●				
37		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等	
38		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等	
39		賦課年度	●			和暦表記	
40		相当年度	●			和暦表記	
41		通知書番号	●				
42		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” + “ (●月分) ” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “ (●月分) ” + “～” + 終了期別 + “期” + “ (●月分) ”	
43		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
44		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
45		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
46		納付金額	●			納付金額（末尾に “円” を付与すること）	
47		延滞金	●			延滞金（末尾に “円” を付与すること）	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	12 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
48		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
49		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
50		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
51		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
52		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等
53		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等
54		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
55		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等

<口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）>
〇〇県〇〇市

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料

納入済通知書公

加入者名〇〇市
会計管理者

口座
記号
番号01234-5-678901

金 額

円

賦課年度

相当年度

通知書番号

期別

被保険者
番号

納期限

年 月 日

取扱
期限

年 月 日

▼▼▼▼▼▼▼▼

33

督 促
手数料

円

延滞金

円

合計

円

被 保 険 者
氏 名

収 納
用
ビ
ニ

収納代行会社：株式会社〇〇
（ご注意）金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

領収日付印

取りまとの金融機関・〇〇銀行〇〇支店
取りまとの店 平日9時～18時（ゆうちょ銀行の村金庫センター）

（〇〇市／コンビニ本部保管）

01234-5-678901〇〇市会計管理者

〇〇県〇〇市

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料公

原簿

被保険者氏名

賦課年度

相当年度

通知書番号

期 別

被保険者番号

納 期 限

年 月 日

金 額

延滞金

備考1編集1

備考2編集2

備考3編集3

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

（金融機関／コンビニ店保管）

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料

窓あき宛名

発行年月日

自治体の名称

郵便還付先

〇〇市
〒000-0000 〇〇市1丁目2番3号
電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面もご覧ください。

印

スマートフォン
等での納付はこちら

二次元
コード

01234-5-678901〇〇市会計管理者

固定文言公

案内文

被保険者氏名

賦課年度

相当年度

科 目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

被保険者番号

備考4編集4

期 別

納期限

年 月 日

金 額

延滞金

備考5編集5

備考6編集6

備考7編集7

本書の金額を
領収いたしました。

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

収入印紙不要

（納付書保管）

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	13 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		金額	●			納付金額
3		賦課年度	●			和暦表記
4		相当年度	●			和暦表記
5		通知書番号	●			
6		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
7		被保険者番号	●			
8		納期限	●			和暦表記
9		取扱期限	●			発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
10		OCR	●			
11		被保険者氏名	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
15		被保険者氏名	●			
16		賦課年度	●			和暦表記
17		相当年度	●			和暦表記
18		通知書番号	●			
19		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
20		被保険者番号	●			
21		納期限	●			和暦表記
22		金額	●			納付金額（末尾に “円” を付与すること）

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		13	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
23		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
24		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
25		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
26		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
27		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
28		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
29		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等
30	領収証書	賦課年度	●			和暦表記
31		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
32		発行年月日	●			和暦表記
33		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
34		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		13	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
35		郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
36		固定文言	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例１：督促状兼納付書） 督促状兼領収証書 （印字例２：催告書兼納付書） 催告書兼領収証書 （印字例３：口座振替不能通知書兼納付書） 口座振替不能通知書兼領収証書
37		案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
38		被保険者氏名	●			
39		賦課年度	●			和暦表記
40		相当年度	●			和暦表記
41		通知書番号	●			
42		被保険者番号	●			
43		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
44		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
45		期別	●			①単一期の場合、期別＋”期”＋”（●月分）” ②複数期の場合、開始期別＋”期”＋”（●月分）”＋”～”＋終了期別＋”期”＋”（●月分）”
46		納期限	●			和暦表記
47		金額	●			納付金額（末尾に”円”を付与すること）

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	13 口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）
----	-----------	------	----------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
48		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
49		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
50		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
51		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
52		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
53		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
54		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
 - ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
- ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			14 口座振替不能通知書兼納付書（マル公）
04. 保険料収納					
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、口座振替不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (例1) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 (例2) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。
9	通知書文言	●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する (例1) 同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 (例2) 以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。
10	金融機関名	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			14 口座振替不能通知書兼納付書（マル公）
04. 保険料収納					
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
11	金融機関支店名	●			
12	預金種目	●			
13	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
14	口座名義人	●			半角カナで印字すること
15	被保険者氏名	●			
16	被保険者番号	●			
17	振替不能の保険料額	相当年度	●		和暦表記
18		期別番号	●		
19		賦課年度	●		和暦表記
20		金額	●		
21		振替できなかった理由	●		
22		備考（固定文言1）	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限
23		固定文言2＋編集1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限 等
24	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 2 督促及び延滞金
25		補足説明文[延滞金加算率]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率]：システム印字項目 （印字例） 保険料をこのまま納付されないと、督促状が發送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率]%の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても365日当りの割合です。
26		納期限名称	●		口振不能理由によって以下の例のように文言を印字する （例1）納期限 （例2）再振替予定日
27		納期限	●		口振不能理由によって以下の例のように日付を印字する （例1）納期限（和暦表記） （例2）再振替予定日（和暦表記）

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納			帳票名称	14	口座振替不能通知書兼納付書（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
28	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
29		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
30		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
31		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
32		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
33	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
34		金額	●			納付金額	
35		賦課年度	●			和暦表記	
36		相当年度	●			和暦表記	
37		通知書番号	●				
38		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期” ③複数期の場合、開始期別＋“期”＋“～”＋終了期別＋“期”	
39		被保険者番号	●				
40		納期限	●			和暦表記	
41		取扱期限	●			和暦表記	
42		被保険者氏名	●				
43		OCR	●				
44		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
45		二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに 使用する二次元コードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開さ れている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されてい る二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字 しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを 想定	
46	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記	
47		被保険者氏名	●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	14 口座振替不能通知書兼納付書（マル公）
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
48		賦課年度	●		和暦表記
49		相当年度	●		和暦表記
50		通知書番号	●		
51		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
52		被保険者番号	●		
53		納期限	●		和暦表記
54		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
55		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
56		備考1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
57		編集1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
58		備考2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
59		編集2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
60		備考3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
61		編集3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等
62	領収証書	被保険者氏名	●		
63		賦課年度	●		和暦表記
64		相当年度	●		和暦表記
65		通知書番号	●		
66		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		14	口座振替不能通知書兼納付書（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
67		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
68		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
69		被保険者番号	●			
70		納期限	●			和暦表記
71		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
72		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
73		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
74		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
75		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
76		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
77		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
78		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル1

案内文 1

被保険者氏名		被保険者番号	
--------	--	--------	--

還付する金額								
過誤納金算出年度 (相当年度： 年度)		期 別	特別徴収	普通徴収	延滞金	納めた金額 過誤納金額	領収年月日 発生理由	備考 1 (固定文言 1)
								固定文言 2 + 編集 1
納め過ぎた金額（過誤納金額）								

金融機関名				支店名	
種 目		口座番号		口座名義人	

補足説明文

担当部署名
〒 担当部署住所
TEL 担当部署電話番号 担当部署FAX番号 担当部署メール

タイトル2

自治体名称 編集 4 請求日： 年 月 日

案内文 2

被保険者氏名					
被保険者番号					還付 管理番号
被保険者住所					
備考 2 (固定文言 3)	編集 2	備考 3 (固定文言 4)	固定文言 5 + 編集 3		

案内文 3

(請求者) フリガナ	
氏 名	被保険者との続柄
住 所 〒	
電話番号	固定文言 6

個人番号 (マイナンバー)											公金受取口座を利用する場合は、請求者の個人番号を記入して下さい。
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------------------

☐ 公金受取口座を利用します。 ※還付金等の受取口座として、国に事前に登録した公金受取口座を利用する場合は、「☐ 公金受取口座を利用します」にチェック (✓) してください。

☐ 下記口座を利用します。 ※公金受取口座を利用する場合は、口座情報 (下記太枠部) の記載や通帳の写しの添付等は不要です。

振 込	金融機関					☐ 銀行 ☐ 信用組合 ☐ 信用金庫 ☐ 共同組合 ☐ そ の 他 []									
	支店					☐ 本店 ☐ 支店 ☐ 出張所 ☐ そ の 他 []									
	金融機関 コード					支店コード									
	預金種別		☐ 普通 ☐ 当座 ☐ そ の 他 []			口座番号 右づめで記入してください									
先	口座名義人 (カタカナ)														

※口座名義人はカタカナで上段より左づめで記入してください。濁点・半濁点は1字とし、姓と名の間は1字あけてください。

固定文言 7
固定文言 8
固定文言 9
固定文言 1 0

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		15 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書兼還付請求書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	発行年月日		●			和暦表記	
2	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
3	郵便還付先			●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
4	タイトル1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療保険料還付・充当通知書	
5	案内文1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 納付（納入）された後期高齢者医療保険料が納めすぎになりましたので、次のとおりお返しいたします。なお、当期までの未済分、および、納期未到来分への充当も行なえます。別紙に添えました『後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ』をご覧ください。	
6	被保険者氏名		●				
7	被保険者番号		●				
8	還付する金額	過誤納金算出年度	●			和暦表記	
9		相当年度	●			和暦表記	
10		納め過ぎた金額（過誤納金額）	●				
11		納め過ぎた金額（過誤納金額）の内訳	期別	●			
12	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	特別徴収	●			特別徴収保険料額	
13		普通徴収	●			普通徴収保険料額	
14		延滞金	●				
15		納めた金額	●				
16		過誤納金額	●				
17		領収年月日	●				
18		発生理由	●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	15 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書兼還付請求書
----	-----------	------	------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
19		備考 1（固定文言 1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促料
20		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促料 等
21	金融機関名		●			
22	支店名		●			
23	種目		●			
24	口座番号		●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
25	口座名義人		●			半角カナで印字すること
26	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 上記、過誤納金額分を次のいずれかの方法でお取扱いいただくことになります。 1. 取扱金融機関を登録されている方、上記指定口座に還付金を振り込みます。 2. 取扱金融機関を登録されていない方や記載されている口座とは別の口座への振り込みを希望する方は、本紙面右側の『後期高齢者医療保険料還付申請書』を切り離し、振込先の口座情報等を記入の上、返送をお願いいたします。
27	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
28		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
29		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
30		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
31		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	15 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書兼還付請求書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
32	タイトル 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付請求書
33	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
34	編集 4		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿
35	案内文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の被保険者に係る後期高齢者医療保険料過誤納金の還付について請求します。
36	被保険者氏名	●			
37	被保険者番号	●			
38	還付管理番号	●			「02. 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書」と紐づく管理番号
39	被保険者住所	●			住所＋全角スペース＋方書
40	備考 2（固定文言 3）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、請求額合計
41	編集 2	●			(還付加算金額ありの場合) 還付額＋還付加算金額 (還付加算金額なしの場合) 還付額
42	備考 3（固定文言 4）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、還付加算金額
43	固定文言 5＋編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 還付額、還付加算金額 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
業務	04. 保険料収納				帳票名称
					15 後期高齢者医療保険料還付（充当）通知書兼還付請求書
44	案内文 3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) なお、還付については、以下に記載した内容にもとづき、金融機関口座へ振り込むよう依頼します。また、本人口座以外に還付する場合は、委任状を提示してください。
45	固定文言 6	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・理由 ※請求者が被保険者本人ではない場合の理由
46	固定文言 7	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 委任状（※被保険者と口座名義人が異なる場合は以下を記入してください。）
47	固定文言 8	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の代理人に後期高齢者医療保険料の還付金の受領を委任します。 年 月 日
48	固定文言 9	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人住所 〒
49	固定文言 1 0	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・代理人氏名

<後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）>

文章番号

発行年月日

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル

相当年度

案内文

基準日

指定納期限

自治体名

被保険者氏名

被保険者番号

通知書番号

相当年度

年度

期別

保険料

納期限

備考
(固定文言1)

固定文言2＋編集1

補足説明文

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号

不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料

納入済通知書 公

加入者名	〇〇市	口座記号番号	01234-5-678901	金額	円
賦課年度		相当年度		通知書番号	
被保険者番号		納期限	年 月 日	取扱期限	年 月 日

33

督促手数料	円	延滞金	円	合計	円
-------	---	-----	---	----	---

被保険者氏名

収コン用ビニ

収納代行会社：株式会社〇〇

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店

取りまとめ店 予〇〇〇〇〇 ゆうちょ銀行の現金書留センター

(〇〇市/コンビニ本部保管)

01234-5-678901 〇〇市会計管理者

〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 公

原符

被保険者氏名	
賦課年度	
通知書番号	
期別	
納期限	年 月 日
金額	
延滞金	
備考1	編集1
備考2	編集2
備考3	編集3

〇〇県
〇〇市

収納代行会社：株式会社〇〇

(金融機関/コンビニ店舗保管)

01234-5-678901 〇〇市会計管理者

〇〇市会計管理者

領収証書 公

被保険者氏名	
賦課年度	
相当年度	
科目	後期高齢者医療保険料
通知書番号	
被保険者番号	
備考4	編集4
期別	
納期限	年 月 日
金額	
延滞金	
備考5	編集5
備考6	編集6
備考7	編集7

本書の金額を
領収いたしました。

収納代行会社：株式会社〇〇

(納付者保管)

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
 - ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
- ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

一体型帳票作成において上部(督促状)の印字項目を[収納-11]と統一する際に、文字の大きさを印字調整したため、他帳票より文字の大きさが小さくなっている。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） [指定納期限]：システム印字項目（和暦表記） [自治体名]：システム印字項目 （印字例） 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	相当年度	●			和暦表記
13	賦課年度	●			和暦表記

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）
----	-----------	------	---------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
14	期別		●			
15	保険料		●			
16	納期限		●			和暦表記
17	備考（固定文言1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
18	固定文言2＋編集1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
19	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承ください。 ※ 領収証は5年間保存願います。
20	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
21		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
22		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
25	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）		
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
						なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するものを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。		
26		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定		
27		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定		
28		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定		
29	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記		
30		金額	●			納付金額		
31		賦課年度	●			和暦表記		
32		相当年度	●			和暦表記		
33		通知書番号	●					
34		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”		
35		被保険者番号	●					
36		納期限	●			和暦表記		
37		取扱期限	●			和暦表記		
38		被保険者氏名	●					
39		OCR	●					
40			バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
41			二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開されている資料（準備編「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定	
42	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記		
43		被保険者氏名	●					

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称	16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
44		賦課年度	●		和暦表記
45		相当年度	●		和暦表記
46		通知書番号	●		
47		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
48		被保険者番号	●		
49		納期限	●		和暦表記
50		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
51		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
52		備考 1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
53		編集 1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
54		備考 2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
55		編集 2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
56		備考 3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
57		編集 3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等
58	領収証書	被保険者氏名	●		
59		賦課年度	●		和暦表記
60		相当年度	●		和暦表記
61		通知書番号	●		
62		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		16 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
63		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等	
64		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等	
65		被保険者番号	●				
66		納期限	●			和暦表記	
67		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）	
68		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
69		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
70		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
71		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	
72		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
73		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
74		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	

<口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）（eL-QRあり）>

77

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度 後期高齢者医療保険料

納入済通知書

公

通常払込料金
加入者負担

加入者名

〇〇市 会計管理者

口座振替
番号

01234-5-678901

納付合計
金額

円

収納機関
番号

納付
番号

確認
番号

納付
区分

相当年度

期別

通知書
番号

納期限

年 月 日

34

収納用
コンビニ

収納代行会社：株式会社〇〇

（ご注意）金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者
氏 名

取扱
期限

年 月 日

領収日付印

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
（〇〇市/コンビニ本部保管）

QRコード

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度 後期高齢者医療保険料

原符兼払込金受領証

公

加入者名

〇〇市 会計管理者

口座記号番号

01234-5-678901

納付合計
金 額

円

取扱期限

年 月 日

☒ 被保険者氏名

納付番号

確認番号

納付
区分

年 度

賦課年度

相当年度

科 目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

期別

納期限

年 月 日

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

（金融機関/コンビニ店頭保管）

賦課年度

年度 後期高齢者医療保険料

窓あき宛名

発行年月日

自治体の名称

印

郵便還付先

〇〇市

〒000-0000

〇〇市1丁目2番3号

電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面をご覧ください。

固定文言

案内文

被保険者氏名

被保険者番号

備考5

編集5

年 度

賦課年度

相当年度

科 目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

期 別

納付番号

確認番号

納付区分

納付金額

延 滞 金

備考1

編集1

備考2

編集2

備考3

編集3

備考4

編集4

※取扱期限とは、コンビニエンスストアでの使用可能期限です。

本書の金額を
領収いたしました。

ゆうちょ銀行・郵便局で納付
された場合は、この領収証書
に代えて払込金受領証が交付
されます。

収納代行会社：株式会社〇〇

収入印紙千圓

（納付者保管）

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ ペイジーマークはペイジー導入済み地方団体のみが使用でき、帳票レイアウトはMPN標準帳票ガイドライン等の仕様書に沿って作成される必要がある（仕様書上のマークは参考として記載）
- ・ カク公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	17	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		納付合計金額	●			
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している）
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）
7		相当年度	●			和暦表記
8		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
9		通知書番号	●			
10		納期限	●			発行する際に、納期限を設定できること 和暦表記
11		OCR	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること
14		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する
15		被保険者氏名	●			
16		取扱期限	●			和暦表記 （マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限）
17	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記

業務	04. 保険料収納	帳票名称	17	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
18		納付合計金額	●		
19		取扱期限	●		和暦表記 （マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限）
20		被保険者氏名	●		
21		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
22		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること
23		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
24		賦課年度	●		和暦表記
25		相当年度	●		和暦表記
26		通知書番号	●		
27		期別	●		①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
28	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
29		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
30		発行年月日	●		和暦表記
31		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
32		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
33		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
34		固定文言	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例１：督促状兼納付書） 督促状兼領収証書 （印字例２：催告書兼納付書） 催告書兼領収証書 （印字例３：口座振替不能通知書兼納付書） 口座振替不能通知書兼領収証書

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	17	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
35		案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
36		被保険者氏名	●			
37		被保険者番号	●			
38		備考5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
39		編集5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
40		賦課年度	●			和暦表記
41		相当年度	●			和暦表記
42		通知書番号	●			
43		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” + “(●月分)” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “(●月分)” + “～” + 終了期別 + “期” + “(●月分)”
44		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
45		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること
46		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
47		納付金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
48		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
49		備考1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
50		編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
51		備考2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等

業務	04. 保険料収納	帳票名称	17	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書1（カク公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
52		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
53		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等
54		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等
55		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
56		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等

<口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）（eL-QRあり）>
〇〇県〇〇市

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料 納入済通知書公el

加入者名〇〇市 会計管理者 口座記号番号01234-5-678901 金額 円

賦課年度 相当年度 通知書番号 期別

被保険者番号 納期限 年 月 日 取扱期限 年 月 日

収納用

収納代行会社：株式会社〇〇
(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者氏名 <eL番号：12345-12345678901234567890-123456-123>
取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
取りまとめ店 ゆうちょ銀行 公金QR受持貯金事務センター

01234-5-678901 〇〇市会計管理者

〇〇県〇〇市 賦課年度年度 後期高齢者医療保険料公

原簿
被保険者氏名
賦課年度 相当年度
通知書番号
期別 被保険者番号
納期限 年 月 日
金額
延滞金
備考1 編集1
備考2 編集2
備考3 編集3

収納代行会社：株式会社〇〇
(金融機関/コンビニ店兼保管)

領収日付印

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料

01234-5-678901 〇〇市会計管理者 固定文言公

窓あき宛名
発行年月日 自治体の名称 印

郵便還付先
〇〇市
〒000-0000 〇〇市1丁目2番3号
電話番号000-000-0000
○コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
○この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
○この領収証書は大切に保管してください。
○裏面もご覧ください。

案内文
被保険者氏名
賦課年度 相当年度
科目 後期高齢者医療保険料
通知書番号
被保険者番号 備考4 編集4
期別
納期限 年 月 日
金額
延滞金
備考5 編集5
備考6 編集6
備考7 編集7

本書の金額を
領収いたしました。
収納代行会社：株式会社〇〇
(納付書保管)

領収日付印

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		18	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		金額	●			納付金額
3		賦課年度	●			和暦表記
4		相当年度	●			和暦表記
5		通知書番号	●			
6		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
7		被保険者番号	●			
8		納期限	●			和暦表記
9		取扱期限	●			発行する際に、取扱納期限を設定できること 和暦表記
10		OCR	●			
11		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
12		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること
13		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する
14		被保険者氏名	●			
15		eL番号		●		
16	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
17		被保険者氏名	●			
18		賦課年度	●			和暦表記
19		相当年度	●			和暦表記
20		通知書番号	●			
21		期別	●			①単一期の場合、期別 + “期” ②複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
22		被保険者番号	●			
23		納期限	●			和暦表記
24		金額	●			納付金額（末尾に “円”を付与すること）
25		延滞金	●			延滞金（末尾に “円”を付与すること）

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	18	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
26		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
27		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に“円”を付与すること) 等
28		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
29		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に“円”を付与すること) 等
30		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
31		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること (想定される印字項目) 取扱期限 等
32	領収証書	賦課年度	●			和暦表記
33		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
34		発行年月日	●			和暦表記
35		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
36		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること

業務	04. 保険料収納	帳票名称	18	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
37		郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
38		固定文言	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例１：督促状兼納付書） 督促状兼領収証書 （印字例２：催告書兼納付書） 催告書兼領収証書 （印字例３：口座振替不能通知書兼納付書） 口座振替不能通知書兼領収証書
39		案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ次紙の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行違いですのでご容赦ください。
40		被保険者氏名	●			
41		賦課年度	●			和暦表記
42		相当年度	●			和暦表記
43		通知書番号	●			
44		被保険者番号	●			
45		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
46		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
47		期別	●			①単一期の場合、期別＋”期”＋”（●月分）” ②複数期の場合、開始期別＋”期”＋”（●月分）”＋”～”＋終了期別＋”期”＋”（●月分）”
48		納期限	●			和暦表記

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	18	口座振替不能通知書・督促状・催告書兼納付書2（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
49		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
50		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
51		備考5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
52		編集5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
53		備考6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
54		編集6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
55		備考7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
56		編集7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること 発行する際に、取扱納期限を設定できること （想定される印字項目） 取扱期限 等

<後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）>

文章番号
発行年月日

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル		相当年度	
案内文			
通知書文言			
金融機関名		金融機関支店名	
預金種目	口座番号	口座名義人	
被保険者氏名		被保険者番号	

1 振替不能の保険料額

相当年度	年度	期別番号	(賦課年度 年度賦課分)	金 額	円
振替できなかった理由					
備考 (固定文言1)	固定文言2＋編集1				
補足説明タイトル					
補足説明文 延滞金加算率					
納期限名称		納期限			

問い合わせ先
担当部署名
〒 担当部署住所
TEL 担当部署電話番号 FAX 担当部署FAX番号 担当部署メール

〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 納入済通知書 (公) (eL)

加入者名 〇〇市 会計管理者	口座記号番号 01234-5-678901	金 額	円
賦課年度	相当年度	通知書番号	期別
被保険者番号	納期限	年 月 日	取扱期限 年 月 日

収納用
収納代行会社：株式会社〇〇
(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。
被保険者氏名
<eL番号：12345-12345678901234567890-123456-123>
取りまとめ金融機関：〇〇銀行〇〇支店
取りまとめ店 ゆうちょ銀行 公金QR受持時金事務センター

領収日付印
(〇〇市/コンビニ本部保管)

QRコード

01234-5-678901 〇〇市会計管理者

〇〇県〇〇市 賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 (公)

原符

被保険者氏名	
賦課年度	相当年度
通知書番号	
期 別	被保険者番号
納期限	年 月 日
金 額	
延滞金	
備考1	編集1
備考2	編集2
備考3	編集3

〇〇県 〇〇市 領収日付印
収納代行会社：株式会社〇〇
(金融機関/コンビニ店舗保管)

01234-5-678901 〇〇市会計管理者

〇〇市会計管理者 領収証書 (公)

被保険者氏名	
賦課年度	
相当年度	
後期高齢者医療保険料	
通知書番号	
被保険者番号	備考4 編集4
期 別	
納期限	年 月 日
金 額	
延滞金	
備考5	編集5
備考6	編集6
備考7	編集7

本書の金額を
領収いたしました。
収納代行会社：株式会社〇〇
収入印紙不要
(納付者保管)

領収日付印

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	19	後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	---------------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、口座振替不能理由によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （例１） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書 （例２） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能再振替通知書
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。
9	通知書文言	●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する （例１）同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 （例２）以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		19	後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
10	金融機関名		●			
11	金融機関支店名		●			
12	預金種目		●			
13	口座番号		●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
14	口座名義人		●			半角カナで印字すること
15	被保険者氏名		●			
16	被保険者番号		●			
17	振替不能の保険料額	相当年度	●			和暦表記
18		期別番号	●			
19		賦課年度	●			和暦表記
20		金額	●			
21		振替できなかった理由	●			
22		備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限
23		固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、通知書番号、取扱期限 等
24	督促及び延滞金	補足説明タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 2 督促及び延滞金
25		補足説明文[延滞金加算率]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率]：システム印字項目 （印字例） 保険料をこのまま納付されないと、督促状が發送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率]%の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても365日当りの割合です。
26		納期限名称	●			口座振替不能理由によって以下の例のように文言を印字する （例1）納期限 （例2）再振替予定日

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称			19	後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
27		納期限	●			口振不能理由によって以下の例のように日付を印字する （例1）納期限（和暦表記） （例2）再振替予定日（和暦表記）	
28	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
29		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
30		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
31		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
32		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
33	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
34		金額	●			納付金額	
35		賦課年度	●			和暦表記	
36		相当年度	●			和暦表記	
37		通知書番号	●				
38		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期” ③複数期の場合、開始期別＋“期”＋“～”＋終了期別＋“期”	
39		被保険者番号	●				
40		納期限	●			和暦表記	
41		取扱期限	●			和暦表記	
42		OCR	●				
43		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
44		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること	
45		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する	
46		被保険者氏名	●				
47		eL番号		●			
48	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記	
49		被保険者氏名	●				
50		賦課年度	●			和暦表記	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	19	後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	---------------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
51		相当年度	●		和暦表記
52		通知書番号	●		
53		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
54		被保険者番号	●		
55		納期限	●		和暦表記
56		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
57		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
58		備考1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
59		編集1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
60		備考2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
61		編集2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
62		備考3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
63		編集3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等
64	領収証書	被保険者氏名	●		
65		賦課年度	●		和暦表記
66		相当年度	●		和暦表記
67		通知書番号	●		
68		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	19	後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	---------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
69		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
70		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
71		被保険者番号	●			
72		納期限	●			和暦表記
73		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
74		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
75		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
76		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
77		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
78		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
79		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
80		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル

相当年度

案内文

基準日

指定納期限

自治体名

被保険者氏名

被保険者番号

通知書番号

相当年度

年度

期別

保険料

納期限

備考
(固定文言1)

固定文言2＋編集1

補足説明文

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号

不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度 後期高齢者医療保険料

納入済通知書

公

eL

加入者名	〇〇市	口帳記号番号	01234-5-678901	金額		円
賦課年度		相当年度		通知書番号		期別
被保険者番号		納期限	年 月 日	取扱期限	年 月 日	

収納用
収納代行会社：株式会社〇〇

（ご注意）金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者氏名

<eL番号：12345-12345678901234567890-123450-123>

取りまとめ金融機関・〇〇銀行 〇〇支店
取りまとめ店 ゆうちょ銀行 公金QR受持貯金事務センター



QRコード

（〇〇市／コンビニ本部保管）

01234-5-678901

〇〇市会計管理者

〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料

原符

被保険者氏名	
賦課年度	相当年度
通知書番号	
期別	被保険者番号
納期限	年 月 日
金額	
延滞金	
備考1	編集1
備考2	編集2
備考3	編集3

〇〇市／コンビニ本部保管

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

（金融機関／コンビニ店舗保管）

01234-5-678901

〇〇市会計管理者

〇〇市会計管理者

領収証書

被保険者氏名	
賦課年度	
相当年度	
科目	後期高齢者医療保険料
通知書番号	
被保険者番号	備考4 編集4
期別	
納期限	年 月 日
金額	
延滞金	
備考5	編集5
備考6	編集6
備考7	編集7

本書の金額を
領収いたしました。

収納代行会社：株式会社〇〇

領収日付印

収入印紙不要

（納付者保管）

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
 - ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
- ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

一体型帳票作成において上部（督促状）の印字項目を[収納-11]と統一する際に、文字の大きさを印字調整したため、他帳票より文字の大きさが小さくなっている。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） [指定納期限]：システム印字項目（和暦表記） [自治体名]：システム印字項目 （印字例） 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	相当年度	●			和暦表記
13	賦課年度	●			和暦表記

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
14	期別		●			
15	保険料		●			
16	納期限		●			和暦表記
17	備考（固定文言1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額
18	固定文言2＋編集1		●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等
19	補足説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承ください。 ※ 領収証は5年間保存願います。
20	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
21		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
22		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
23		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
24		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
25	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		20	後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
						なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するものを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
26		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
27		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
28		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
29	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
30		金額	●			納付金額
31		賦課年度	●			和暦表記
32		相当年度	●			和暦表記
33		通知書番号	●			
34		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
35		被保険者番号	●			
36		納期限	●			和暦表記
37		取扱期限	●			和暦表記
38		OCR	●			
39		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
40		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること
41		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する
42		被保険者氏名	●			
43		eL番号		●		
44	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
45		被保険者氏名	●			
46		賦課年度	●			和暦表記
47		相当年度	●			和暦表記
48		通知書番号	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
49		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
50		被保険者番号	●				
51		納期限	●			和暦表記	
52		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）	
53		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
54		備考1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
55		編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
56		備考2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	
57		編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
58		備考3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
59		編集3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	
60	領収証書	被保険者氏名	●				
61		賦課年度	●			和暦表記	
62		相当年度	●			和暦表記	
63		通知書番号	●				
64		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		20 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
65		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等	
66		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等	
67		被保険者番号	●				
68		納期限	●			和暦表記	
69		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）	
70		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
71		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
72		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
73		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	
74		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
75		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
76		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	

業務	04. 保険料収納	帳票名称	21 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）
----	-----------	------	--------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
2	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
3		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
4		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
5		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
6		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
7	納入済通知書	OCR	●			
8		被保険者氏名	●			
9		賦課年度	●			和暦表記
10		相当年度	●			和暦表記
11		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”
12		金額	●			納付金額
13		通知書番号	●			
14		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
15		納期限	●			和暦表記
16		備考1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
17		編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
18		取扱期限	●			和暦表記
19		納付合計額	●			納付合計額（末尾に“円”を付与すること）
20		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
21	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●			
22		賦課年度	●			和暦表記
23		相当年度	●			和暦表記
24		通知書番号	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		21 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
25		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期”	
26		被保険者番号	●				
27		納期限	●			和暦表記	
28		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）	
29		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
30		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
31		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
32		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	
33		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
34		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
35		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	
36	領収証書	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 （印字例） 督促状兼領収証書	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		21	後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
37		教示文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ裏面の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行き違いですので御容赦ください。
38		発行年月日	●			和暦表記
39		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
40		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
41		被保険者氏名	●			
42		賦課年度	●			和暦表記
43		相当年度	●			和暦表記
44		通知書番号	●			
45		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”
46		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
47		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
48		被保険者番号	●			
49		納期限	●			和暦表記
50		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
51		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
52		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
53		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務			04. 保険料収納		帳票名称		21 後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
54		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等		
55		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に “円” を付与すること） 等		
56		備考 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等		
57		編集 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等		

<後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）>

口座記号番号	01234-0-0123456	加入者名	〇〇市会計管理者
--------	-----------------	------	----------

納入済通知書



督促状

公

原符

督促状

公

後期高齢者医療保険料

被保險者氏名

切り取らないで金融機関 コンビニ等に提出してください。	賦課年度		相当年度	
	通知番号			
	期 別			
	被保険者番号			
	納期限			
	金 額			
	延滞金			
備考 2	編集 2			
備考 3	編集 3			
備考 4	編集 4			

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
金融機関/コンビニ店舗控

口座記号番号	01234-0-0123456	加入者名	〇〇市会計管理者
--------	-----------------	------	----------

タイトル

四

教示文

発行年月日

自治体の名称

自

被保險者氏名

科 目	後期高齢者医療保険料
賦課年度	相当年度
通知書番号	
期 別	備考5 編集5
被保険者番号	
納 期 限	
金 額	
延滞金	
備考6	編集6
備考7	編集7
備考8	編集8

本状の金額を領収いたしました。
この領収証書は大切に保管してください。

〇〇市 会計管理者
〇〇市 指定金融機関
〇〇市 収納代理金融機関

領収目付印

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
納付者控

[illegible]

99999999999999999999

※この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。

○○ ○○ 様

科 目	就讀年度	相當年度	期別	金 額	備 考
後期高齢者医療保険料					
通知書番号				延滞金	
納 期 限				備考 1	編集 1
取扱期限				合 計	

コ
ン
ビ
ニ
収
納
用

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

<eL番号: 12345-1234567890123
-123456-123>

〇〇市会計管理者 あて

領収日付印



eL-QR

収納代行会社：株式会社〇〇
(〇〇市/コンビニ本部保管)

(お問い合わせ先)

担当部署名

担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

重要

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		22	後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
1	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード		
2	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名		
3		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所		
4		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定		
5		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
6		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		
7	納入済通知書	OCR	●					
8		被保険者氏名	●					
9		賦課年度	●			和暦表記		
10		相当年度	●			和暦表記		
11		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”		
12		金額	●			納付金額		
13		通知書番号	●					
14		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）		
15		納期限	●			和暦表記		
16		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等		
17		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等		
18		取扱期限	●			和暦表記		
19		納付合計額	●			納付合計額（末尾に“円”を付与すること）		
20		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示		
21		eL番号		●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	22	後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
22	原符兼払込金受領証	地方税統一QRコード	●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること
23		eL-QR	●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する
24		被保険者氏名	●		
25		賦課年度	●		和暦表記
26		相当年度	●		和暦表記
27		通知書番号	●		
28		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期”
29		被保険者番号	●		
30		納期限	●		和暦表記
31		金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）
32		延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）
33		備考2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
34		編集2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
35		備考3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
36		編集3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
37		備考4	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
38		編集4	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	22	後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
39	領収証書	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 （印字例） 督促状兼領収証書
40		教示文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 下記の金額が未納となっておりますので、本状持参のうえ裏面の金融機関で督促手数料を含め納付してください。 なお、本状到着前に納付済の場合は行き違いですので御容赦ください。
41		発行年月日	●			和暦表記
42		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
43		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
44		被保険者氏名	●			
45		賦課年度	●			和暦表記
46		相当年度	●			和暦表記
47		通知書番号	●			
48		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”
49		備考5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
50		編集5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
51		被保険者番号	●			
52		納期限	●			和暦表記
53		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
54		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）

業務	04. 保険料収納	帳票名称	22	後期高齢者医療保険料督促状兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	----	--------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
55		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
56		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
57		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
58		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
59		備考 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
60		編集 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

＜口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）＞

口座記号番号	01234-0-0123456	加入者名	〇〇市会計管理者
--------	-----------------	------	----------

納入済通知書

振替不能 (公)

99 999999999999999999999999999999

99999999999999999999

※この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。

○○ ○○ 様

科 目	賦課年度	相当年度	類別	金 額	円
後期高齢者医療保険料					
通知書番号			延滞金		
納 期 限			備考 1	編集 1	
取扱期限			合 計		円

コンビニ収納用

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

〇〇市会計管理者 あて

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
(〇〇市/コンビニ本部保管)

口座記号番号	01234-0-0123456
加入者名	〇〇市会計管理者

原符

振替不能 (公)

後期高齢者医療保険料

被保險者氏名

貸賦課年度	相当年度	
通知番号		
期 別		
被保険者 番号		
納納期限		
金 額		
延滞金		
備考 2	編集 2	
備考 3	編集 3	
備考 4	編集 4	

切り取らないで金融機関・コンビニ等にお出ください。

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
金融機関/コンビニ店舗控

口座記号番号 01234-0-0123456 加入者名 ○○市会計管理者

タイトル

（公

教示文

發行年月日

自治体の名称

印

被保險者氏名

科 目	後期高齢者医療保険料	
賦課年度	相当年度	
通知書番号		
期 別	備考 5	編集 5
被保険者番号		
納 期 限		
金 額		
延 滞 金		
備考 6	編集 6	
備考 7	編集 7	
備考 8	編集 8	

切り取らないで金融機関・コンビニ等にお出してください。

本状の金額を領収いたしました。
この領収証書は大切に保管してください。

〇〇市 会計管理者
〇〇市 指定金融機関
〇〇市 収納代理金融機関

領収日付印

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
納付者控

(お問い合わせ先)

担当部署名

担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 FAX 担当部署FAX番号

担当部署メール

重要

宛名

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		04. 保険料収納		帳票名称		23 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
2	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
3		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
4		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
5		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
6		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
7	納入済通知書	OCR	●				
8		被保険者氏名	●				
9		賦課年度	●			和暦表記	
10		相当年度	●			和暦表記	
11		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”	
12		金額	●			納付金額	
13		通知書番号	●				
14		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
15		納期限	●			和暦表記	
16		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
17		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
18		取扱期限	●			和暦表記	
19		納付合計額	●			納付合計額（末尾に“円”を付与すること）	
20		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
21	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●				
22		賦課年度	●			和暦表記	
23		相当年度	●			和暦表記	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		23 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
24		通知書番号	●			
25		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
26		被保険者番号	●			
27		納期限	●			和暦表記
28		金額	●			納付金額（末尾に “円”を付与すること）
29		延滞金	●			延滞金（末尾に “円”を付与すること）
30		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
31		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に “円”を付与すること） 等
32		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
33		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に “円”を付与すること） 等
34	備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
35	編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	
36	領収証書	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 （印字例） 口座振替不能通知書兼領収証書

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納		帳票名称		23 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
37		教示文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [自治体名]：システム印字項目 (印字例) 下記の金額が指定口座からの振替ができませんでした。 至急[自治体名]指定金融機関等で納付してください。 なお、本書到着前に納付済の場合は行き違いですので御容赦ください。
38		発行年月日	●			和暦表記
39		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
40		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
41		被保険者氏名	●			
42		賦課年度	●			和暦表記
43		相当年度	●			和暦表記
44		通知書番号	●			
45		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋”期”＋”（●月分）” ③複数期の場合、開始期別＋”期”＋”（●月分）”＋”～”＋終了期別＋”期”＋”（●月分）”
46		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
47		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
48		被保険者番号	●			
49		納期限	●			和暦表記
50		金額	●			納付金額（末尾に”円”を付与すること）
51		延滞金	●			延滞金（末尾に”円”を付与すること）
52		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			23	口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）
04. 保険料収納						
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
53		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
54		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
55		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
56		備考 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
57		編集 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

業務		04. 保険料収納		帳票名称		24 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
2	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
3		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
4		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
5		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
6		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	
7	納入済通知書	OCR	●				
8		被保険者氏名	●				
9		賦課年度	●			和暦表記	
10		相当年度	●			和暦表記	
11		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”	
12		金額	●			納付金額	
13		通知書番号	●				
14		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
15		納期限	●			和暦表記	
16		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
17		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
18		取扱期限	●			和暦表記	
19		納付合計額	●			納付合計額（末尾に“円”を付与すること）	
20		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
21		eL番号		●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称			24	口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
04. 保険料収納						
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
22	原符兼払込金受領証	地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること
23		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する
24		被保険者氏名	●			
25		賦課年度	●			和暦表記
26		相当年度	●			和暦表記
27		通知書番号	●			
28		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
29		被保険者番号	●			
30		納期限	●			和暦表記
31		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
32		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
33		備考2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
34		編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
35		備考3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
36		編集3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
37		備考4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
38		編集4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

業務	04. 保険料収納		帳票名称		24	口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
39	領収証書	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること システム印字項目 （印字例） 口座振替不能通知書兼領収証書
40		教示文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [自治体名]：システム印字項目 （印字例） 下記の金額が指定口座からの振替ができませんでした。 至急[自治体名]指定金融機関等で納付してください。 なお、本書到着前に納付済の場合は行き違いですので御容赦ください。
41		発行年月日	●			和暦表記
42		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
43		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
44		被保険者氏名	●			
45		賦課年度	●			和暦表記
46		相当年度	●			和暦表記
47		通知書番号	●			
48		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋“期”＋“（●月分）” ③複数期の場合、開始期別＋“期”＋“（●月分）”＋“～”＋終了期別＋“期”＋“（●月分）”
49		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等
50		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
51		被保険者番号	●			
52		納期限	●			和暦表記
53		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること）
54		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	04. 保険料収納	帳票名称	24 口座振替不能通知書兼納付書（はがき）（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	---------------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
55		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等
56		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
57		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等
58		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
59		備考 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等
60		編集 8	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等

窓あき宛名

自治体の名称

印

郵便還付先

タイトル

案内文

基準日

指定納期限

自治体名

被保険者氏名								
被保険者番号								
通知書番号								
保険料合計		円	備考 2 (固定文言 1)		固定文言 2 + 編集 1			
備考 1		円						
P. <table><tr><td>ページ数</td><td>総ページ数</td></tr></table>							ページ数	総ページ数
ページ数	総ページ数							
相当年度	賦課年度	期別	納期限	保険料	合計	備考 3 (固定文言 3)		
						固定文言 4 + 編集 2		

補足説明文

基準日

問い合わせ先

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	01 後期高齢者医療保険料催告書
----	----------	------	------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例1）催告書の場合 後期高齢者医療保険料催告書 （印字例2）差押予告書の場合 後期高齢者医療保険料差押予告書

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	01 後期高齢者医療保険料催告書
----	----------	------	------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
8	案内文[基準日][指定納期限][自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]: システム印字項目 (和暦表記) [指定納期限]: システム印字項目 (和暦表記) [自治体名]: システム印字項目 (印字例 1) 催告書の場合 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この催告書の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることになります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。 (印字例 2) 差押予告書の場合 あなたの滞納額については、再三再四納付をお願いいたしましたが、いまだに履行されていません。[自治体名]としては、これ以上滞納を放置することはできません。 つきましては、[指定納期限]までに必ず納付してください。 もし、納付もされず、連絡もない場合には、賦課徴収を公平に執行すべき立場から、不本意ながら法律の定めるところにより、財産（動産、不動産、債権、その他）を調査し、滞納処分を執行いたします。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	通知書番号	●			未納期別の納入通知書における通知書番号
12	保険料合計	●			
13	備考 1		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 総合計
14	備考 2 (固定文言 1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限
15	固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		05. 滞納管理		帳票名称		01 後期高齢者医療保険料催告書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
16	ページ数		●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数	
17	総ページ数		●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数	
18	詳細	相当年度	●			和暦表記	
19		賦課年度	●			和暦表記	
20		期別	●				
21		納期限	●			和暦表記	
22		保険料	●				
23		合計	●			督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額	
24		備考3（固定文言3）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数）	
25	固定文言4＋編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること （想定される印字内容） 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数） 等		
26	補足説明文[基準日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日により再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承願います。 ※ 最近納付された方で、この催告書が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。 ※ 延滞金が無い場合、保険料合計欄と総合計欄の金額は同額となります。	
27	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
28		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
29		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
30		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
31		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

タイトル

[illegible]

基準日

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	02 後期高齢者医療保険料催告書別紙
----	----------	------	--------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料催告書
2	被保険者氏名		●			
3	被保険者番号		●			
4	通知書番号		●			未納期別の納入通知書における通知書番号
5	ページ数		●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数
6	総ページ数		●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数
7	詳細	相当年度	●			和暦表記
8		賦課年度	●			和暦表記
9		期別	●			
10		納期限	●			和暦表記
11		保険料	●			
12		合計	●			督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額
13		備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数）
14		固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金（延滞金算出対象日数） 等
15	補足説明文[基準日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日により再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承願います。

窓あき宛名

表タイトル

郵便還付先

タイトル

記入日： 年 月 日

自治体の名称

$$(\overline{\tau} \quad -)$$
住所 _____フリガナ氏名電話番号

固定文言 1

被保険者氏名		申請理由	固定文言 4
被保険者番号		内 容	(その他の場合記入して下さい)
備考 1 (固定 文言 2)	固定文言 3 + 編集 1	備考 2 (固定 文言 5)	固定文言 6

分納計画 分納誓約日：分納誓約日

分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考 3（固定文言 7）
							固定文言 8 + 編集 2
徴収合計額			P. ページ数 / 総ページ数				

P.	ページ数	総ページ数
----	------	-------

問い合わせ先

担当部署名

担当部署住所	
--------	--

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		05. 滞納管理		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料分納誓約書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	発行年月日	●			和暦表記		
2	表タイトル	●			パラメタで表の出力有無を選択できること 表の出力有無および文言マスタの印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 決裁欄		
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード		
4	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること		
5	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納誓約書		
6	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること		
7	編集 3		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	05. 滞納管理	帳票名称	03 後期高齢者医療保険料分納誓約書
----	----------	------	--------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
8	固定文言 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。 つきましては保険料を、下記の分納計画のとおり納入することを誓約いたします。 なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分をうけても異議ありません。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	備考 1 (固定文言 2)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付方法
12	固定文言 3 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 納付方法 等
13	固定文言 4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他
14	備考 2 (固定文言 5)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 来庁者
15	固定文言 6	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他
16	分納誓約日	●			和暦表記 自署の場合は印字しない

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務

05. 滞納管理

帳票名称

03 後期高齢者医療保険料分納誓約書

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など																																														
			必須	オプション	不可																																															
17	分納計画 ※分納期別に応じ て、1行目～N行目ま で印字	分納期別	●			※分納期別に該当する分納対象（通番17～通番20の出力対象）が複数存在する場 合は2行目以降は空白 ・出力例（通番14～通番22） 普徴1期（3,000円）、普徴2期（3,000円）を3回で徴収 <table><tr><td>分納期別</td><td colspan="3">徴収期限</td><td>徴収額</td><td>相当年度</td><td>賦課年度</td><td>元普徴期別</td><td>保険料</td><td>備考</td></tr><tr><td>分納 1期</td><td>令和 3年 4月30日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 1期</td><td>2,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td>分納 2期</td><td>令和 3年 5月31日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 1期</td><td>1,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 2期</td><td>1,000</td><td></td><td></td></tr><tr><td>分納 3期</td><td>令和 3年 6月30日</td><td>2,000</td><td>令和 3年</td><td>令和 3年</td><td>普徴 2期</td><td>2,000</td><td></td><td></td></tr></table>	分納期別	徴収期限			徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000			分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000						令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000			分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000		
分納期別		徴収期限			徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																																										
分納 1期		令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000																																													
分納 2期		令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000																																													
				令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000																																													
分納 3期		令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000																																													
18		徴収期限	●			和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象（通番17～通番20の出力対象）が複数存在する場 合は2行目以降は空白																																														
19		徴収額	●			分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象（通番17～通番20の出力対象）が複数存在する場 合は2行目以降は空白																																														
20		相当年度	●			分納対象の相当年度 和暦表記																																														
21		賦課年度	●			分納対象の賦課年度 和暦表記																																														
22	元普徴期別	●			分納対象の期別																																															
23	保険料	●			通番16の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																															
24	備考3（固定文言7）	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字するこ と （印字例） 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額																																															
25	固定文言8＋編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字 すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																															
26	徴収合計額		●																																																	
27	ページ数		●																																																	
28	総ページ数		●																																																	
29	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名																																															
30		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所																																															
31		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定																																															

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		05. 滞納管理		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料分納誓約書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
32		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
33		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

担当部署メール

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		帳票名称	
05. 滞納管理		04 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書	

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
7	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納承認連絡書
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料の分納については、下記の通り承認しましたので通知します。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	分納承認年月日	●			和暦表記

業務		05. 滞納管理		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書																																																		
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など																																																		
			必須	オプション	不可																																																			
12	分納計画 ※分納期別に応じ て、1行目～N行目ま で印字	分納期別	●			※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場 合は2行目以降は空白 ・出力例（通番11～通番19） 普徴1期（3,000円）、普徴2期（3,000円）を3回で徴収																																																		
<table><tr><th>分納期別</th><th colspan="3">徴収期限</th><th>徴収額</th><th>相当年度</th><th>賦課年度</th><th>元普徴期別</th><th>保険料</th><th>備考</th></tr><tr><td>分納 1 期</td><td>令和 3 年</td><td>4 月</td><td>3 0 日</td><td>2,000</td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 1 期</td><td>2,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 2 期</td><td>令和 3 年</td><td>5 月</td><td>3 1 日</td><td>2,000</td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 1 期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 2 期</td><td>1,000</td><td></td></tr><tr><td>分納 3 期</td><td>令和 3 年</td><td>6 月</td><td>3 0 日</td><td>2,000</td><td>令和 3 年</td><td>令和 3 年</td><td>普徴 2 期</td><td>2,000</td><td></td></tr></table>						分納期別	徴収期限			徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1 期	令和 3 年	4 月	3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	2,000		分納 2 期	令和 3 年	5 月	3 1 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	1,000							令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	1,000		分納 3 期	令和 3 年	6 月	3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	2,000		
分納期別		徴収期限			徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																																														
分納 1 期		令和 3 年	4 月	3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	2,000																																															
分納 2 期		令和 3 年	5 月	3 1 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 1 期	1,000																																															
						令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	1,000																																															
分納 3 期		令和 3 年	6 月	3 0 日	2,000	令和 3 年	令和 3 年	普徴 2 期	2,000																																															
13		徴収期限	●			和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場 合は2行目以降は空白																																																		
14		徴収額	●			分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象（通番14～通番17の出力対象）が複数存在する場 合は2行目以降は空白																																																		
15		相当年度	●			分納対象の相当年度 和暦表記																																																		
16	賦課年度	●			分納対象の賦課年度 和暦表記																																																			
17	元普徴期別	●			分納対象の期別																																																			
18	保険料	●			通番13の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																																			
19	備考（固定文言1）	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字するこ と （印字例） 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																																			
20	固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字 すること （想定される印字項目） 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																																			
21	徴収合計額		●																																																					
22	ページ数		●																																																					
23	総ページ数		●																																																					
24	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名																																																		
25		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所																																																		
26		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定																																																		
27		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること																																																		

業務		05. 滞納管理		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
28		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

表タイトル

窓あき宛名

郵便還付先

タイトル

編集 2

住所

氏名

電話番号

固定文言 1

申請理由	固定文言 2
内 容	(その他の場合記入して下さい)
備考 1 (固定 文言 3)	固定文言 4

納付誓約日：	納付誓約日
--------	-------

[illegible]

P. ページ数 / 総ページ数

TEL 担当部署電話番号 担当部署FAX番号 担当部署メール

業務		05. 滞納管理		帳票名称	05 後期高齢者医療保険料納付誓約書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記
2	表タイトル	●			パラメタで表の出力有無を選択できること 表の出力有無および文言マスタの印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 決裁欄
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付誓約書
6	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
7	編集 2		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 殿
8	固定文言 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。 つきましては保険料を、下記のとおり納入することを誓約いたします。なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分をうけても異議ありません。

業務	05. 滞納管理	帳票名称	05 後期高齢者医療保険料納付誓約書
----	----------	------	--------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
9	被保険者氏名		●			
10	被保険者番号		●			
11	固定文言 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他
12	備考 1 (固定文言 3)		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 来庁者
13	固定文言 4		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他
14	納付誓約日		●			和暦表記 自署の場合は印字しない
15	納付誓約対象 ※納付誓約対象の期 別に応じて、1行目～ N行目まで印字	相当年度	●			和暦表記
16		賦課年度	●			和暦表記
17		期別番号	●			
18		誓約期限日	●			和暦表記
19		徴収額	●			
20		備考 2 (固定文言 5)	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等
21		固定文言 6 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等
22	徴収合計額		●			
23	ページ数		●			
24	総ページ数		●			
25	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名 + 部署名
26		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号 + 全角スペース + 住所
27		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
28		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること

業務	05. 滞納管理		帳票名称		05	後期高齢者医療保険料納付誓約書
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
29		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること